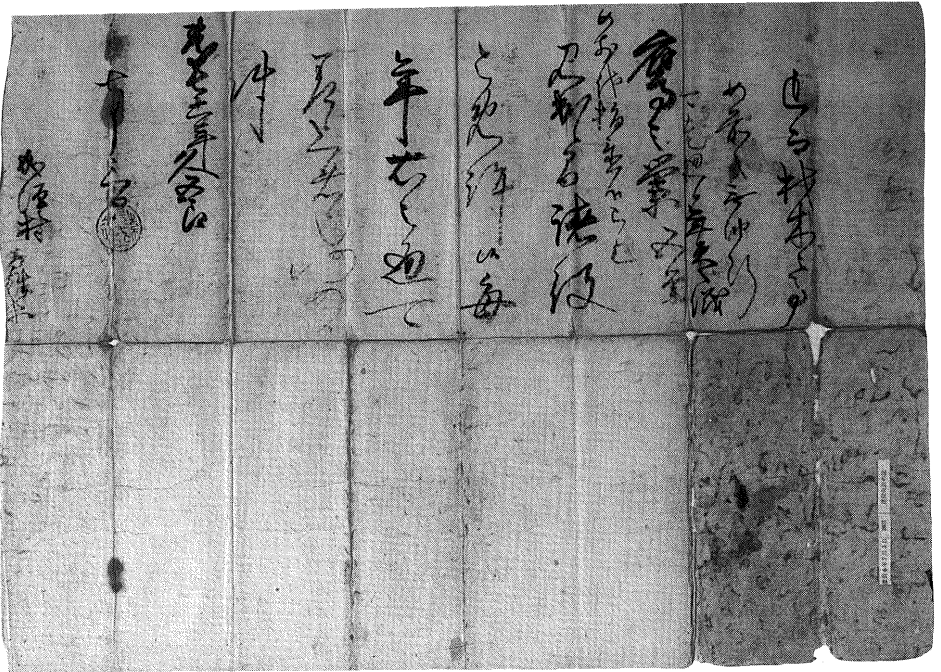


鳥居元忠の御巢鷹文書



「材木・御巢鷹御用」鳥居成次文書（慶長6年）

萬年新とて
 とつていとして
 儀子御儀すか
 五七人又化つて
 心半 ~~大~~ ~~大~~ ~~大~~
 一更のよつて
 ち ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 金子三枚下
 力持 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 老 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 年 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 少 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 少 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 少 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~

鳥居成次の御巢鷹文書

萬年新とて
 とつていとして
 儀子御儀すか
 五七人又化つて
 心半 ~~大~~ ~~大~~ ~~大~~
 一更のよつて
 ち ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 金子三枚下
 力持 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 老 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 年 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 少 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 少 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~
 少 ~~ち~~ ~~ち~~ ~~ち~~

秋元家々老、御巢鷹連署証文



春日神社「湯立ての釜」
 (元文3年・県文)



春日神社「湯立ての釜」
 (天明5年・県文)



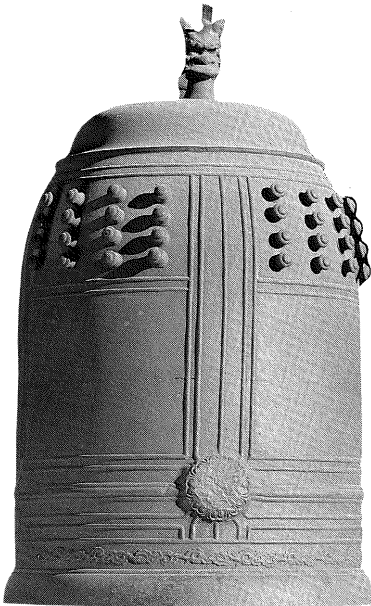
魔王天神社「湯立ての釜」 (安政2年・県文)



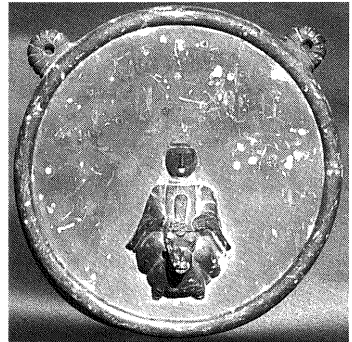
阿弥陀堂、三十六歌仙天井絵（部分）



薬明王大権現碑拓本



通玄寺梵鐘（享保8年）



春日神社御正体



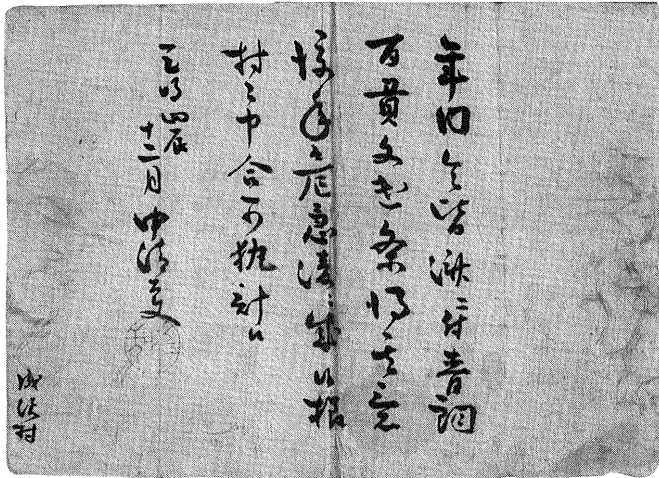
通玄寺鐔口（宝永元年）



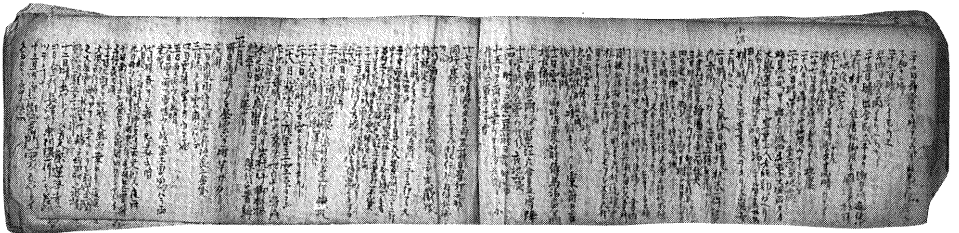
伊勢神宮代参勸化帳と道中日記
(文久2年)



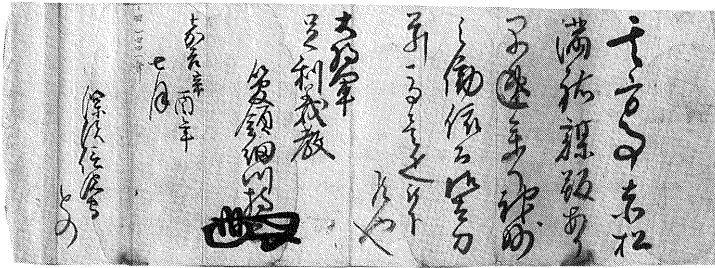
鳴沢村水帳 (寛文9年)



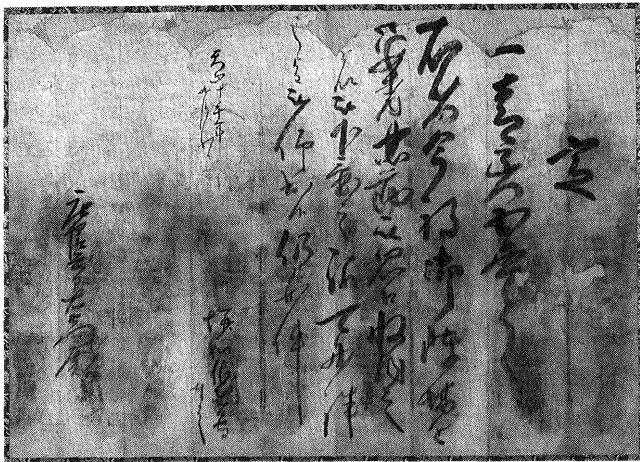
谷村代官中井清太夫発給の御印紙 (天明4年)



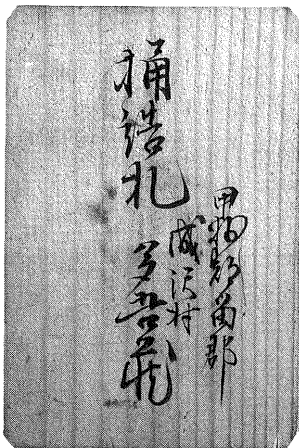
渡辺富右衛門日記



伝、細川家文書



伝、北条家文書



桶結い鑑札

板花西氣
地氣
嶺
山頭錦

谷村代官
江川太郎左衛門の書

第一大學區第四十五番中學區
第二十七番小學 川口學校生徒
小林 休吉
明治七年
五月十九日
下等小學第八級
卒業候事
山梨縣

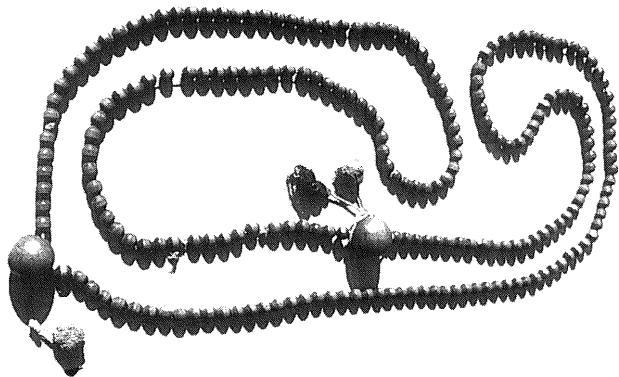
川口學校生徒の小学第8級卒業証書（明治7年）

右正 二 領收 候 也
明治廿五年
六月十一日
大田和尋常小學校管理者
大田和尋常小學校管理者
右明治廿五年六月十日 日限り上納
明治廿五年
六月十日
渡邊 敬
小林 貴作
第二之書
一金拾八匁
明治廿五年五月分
年 級生徒授業料
大田和尋常小學校管理者
渡邊 敬

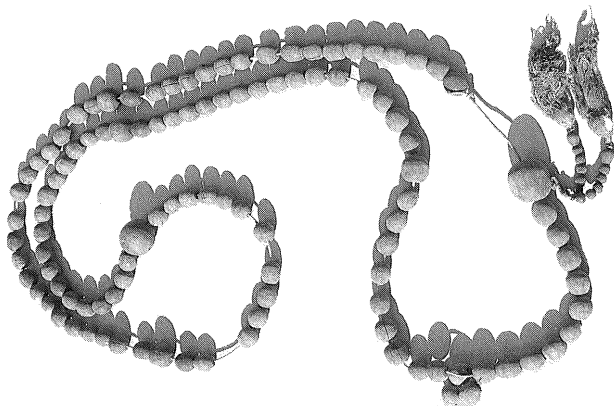
大田和尋常小學校授業料領収証

寶祚無窮

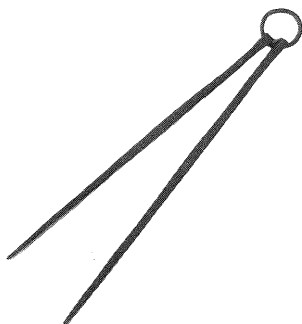
犬養毅の扁額



百万迦大念仏の大数珠



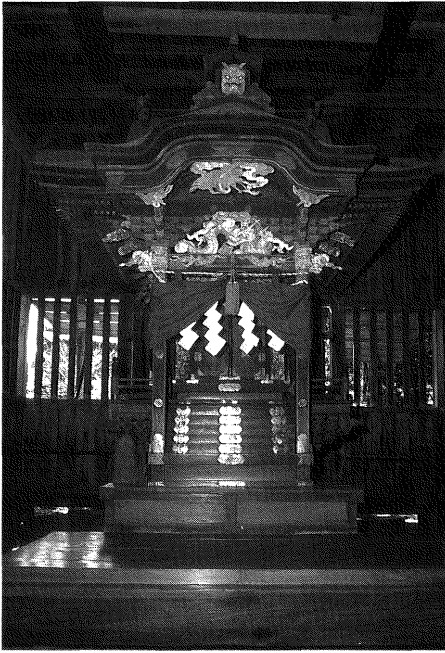
富士仙元碑 (片蓋山)



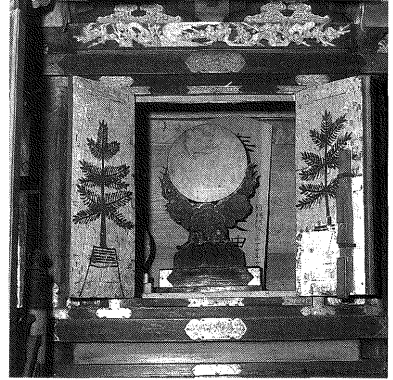
富士仙元茶屋の火箸



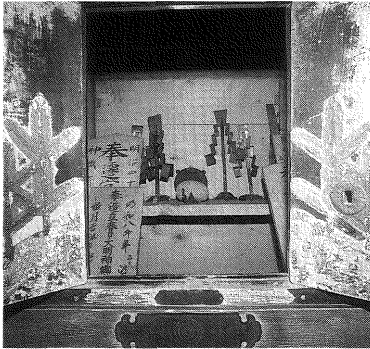
道祖神幟
(文久2年)



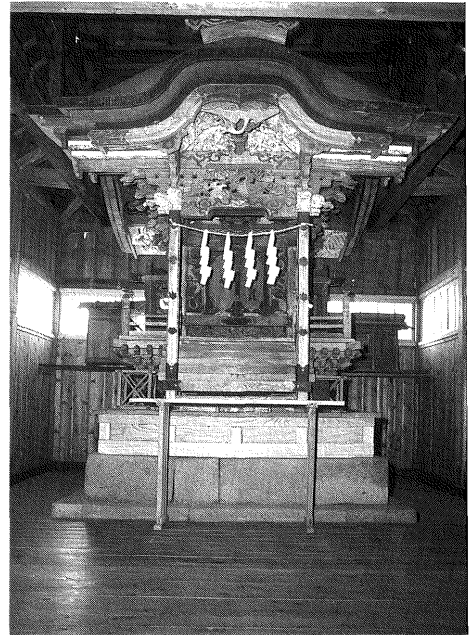
八幡神社本殿



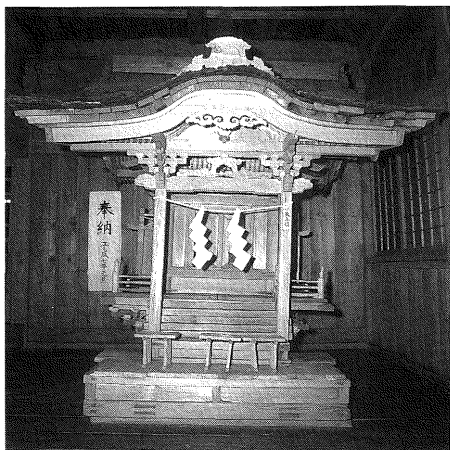
八幡神社御神体



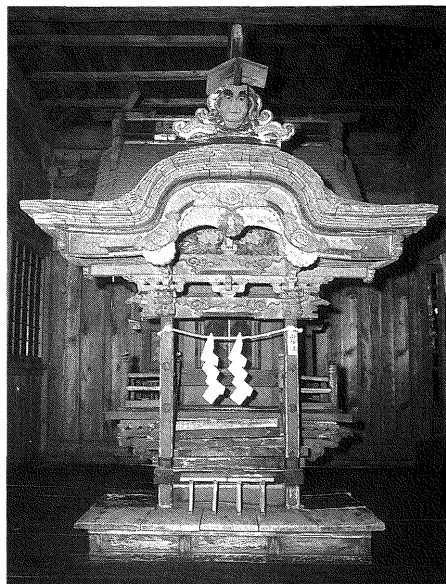
春日神社御神体と棟札



春日神社本殿



春日神社末社の牛頭天王社



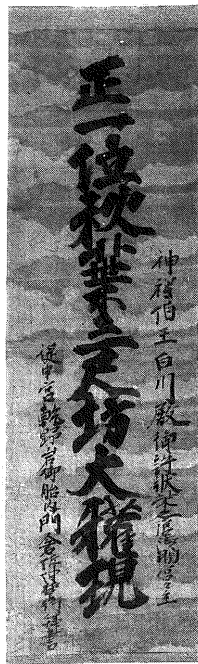
春日神社末社の山神社



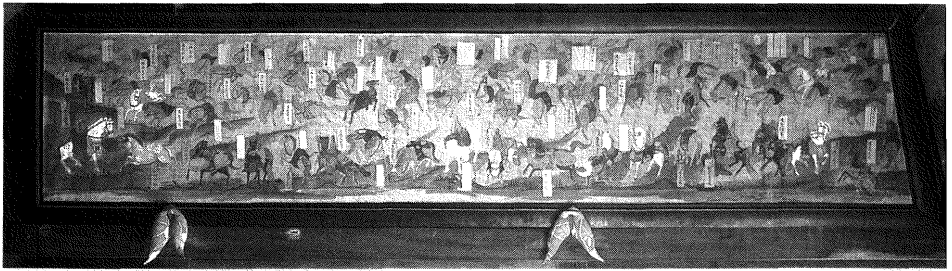
魔王天神社の御神体



小御嶽大権現社の古宮



秋葉大権現掛軸



通玄寺の千匹馬扁額（部分）

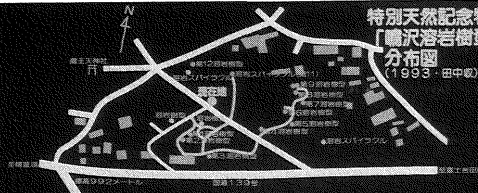


通玄寺の百一体観世音菩薩像




村中居屋敷・屋敷成鹿絵図（明治4年）


**特別天然記念物
「鳴沢溶岩樹型」**
(1993・田中政)




溶岩樹型の成因



①溶岩流の流下




②樹木がとり込まれる




③樹木が消失して
窟に空洞が残る


溶岩樹型の種類




(1)開戸型樹型




(2)石柱型樹型
(不動岩型樹型)



(3)傾斜型樹型



(4)横臥型樹型



(5)流木型樹型

溶岩樹型の成因と種類 (1979・田中政)

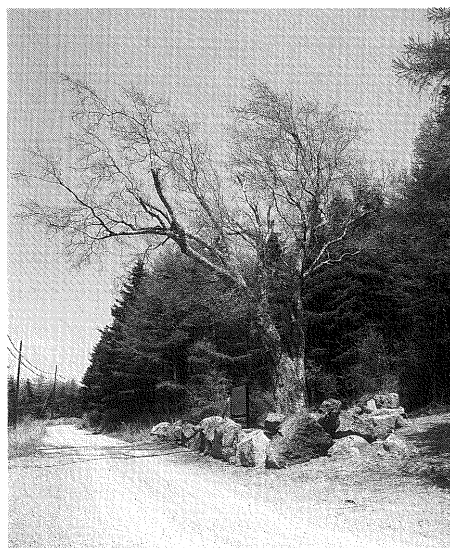
昭和八(一九三三)年、富士山中より噴き出した溶岩が噴火口の東麓に流れ、鳴沢村まで流下し、直径一メートル以上の巨木が林立していた大森の立ち木や樹木を呑み、冷卻固化した、燃えつきた大木の骨幹等の形をそのまま残しました。これが「溶岩樹型」です。昭和四年、石原初太郎記念動物調査員として田中政が「溶岩樹型」が明らかたされ、極めて貴重な天然記念物として国に指定されました。平成五年、田中政教授の再調査により、「溶岩樹型」だけでなく、地を流れ、水分を蒸発し、ガス圧が膨みの、溶岩流を突き破り、噴き出し世界の初めに生じた「溶岩パイプ」(溶岩水蒸気噴孔)が明らかたされました。第十一号は、溶岩樹型ではなく、完全な形が残ったものである世界的にも貴重な典型的「溶岩パイプ」です。

昭和二十七年三月二十九日指定

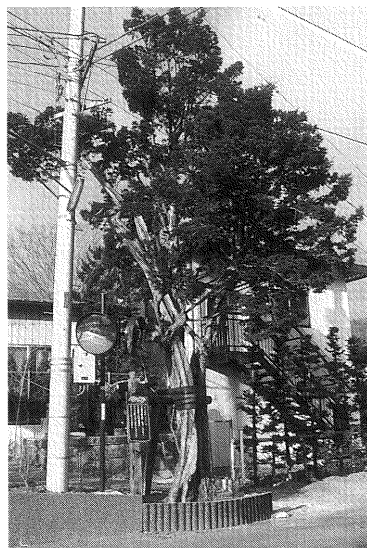
平成七年 三月十日
鳴沢村教育委員会



国指定特別天然記念物・鳴沢の溶岩樹型



県指定天然記念物、アズキナシ



鐘かけのヘダ木